

平成 28 年 7 月 7 日

各 位

株式会社みなと銀行  
みなとキャピタル株式会社  
株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント

みなと銀行グループと株式会社 ファーム・アライアンス・マネジメント  
とのアドバイザリー契約締結について

株式会社 みなと銀行(頭取 服部 博明)と みなとキャピタル 株式会社(社長 庵原 敬吾)は、農業の発展による地域経済・産業振興を目的に、株式会社 ファーム・アライアンス・マネジメント(社長 松本 武、以下ファーム・アライアンス)とアドバイザリー契約を締結しましたので、お知らせいたします。

尚、農業生産工程管理の国際認証規格(グローバルGAP)取得支援を手掛けるファーム・アライアンスが金融機関とアドバイザリー契約を締結するのは、今回が初めてとなります。

TPPの発効や東京オリンピックの開催を控えた日本では、世界基準での農産物の安全管理や若手農家の育成が必要とされ、今後、より専門的でグローバルな視点を持った農業経営の機運が高まるものと考えられています。

平成 28 年 1 月、みなと銀行グループ及び西日本旅客鉄道 株式会社(JR西日本)、ファーム・アライアンスは、業務協力に関する協定を締結し、これまでセミナーや商談会を共同で開催してまいりました。今回の契約を通じて、みなと銀行グループは、地域の取引先に、ファーム・アライアンスによるグローバルGAPの取得支援や農業経営の高度化・IT化の支援など、より広範なコンサルティング機能を提供することが可能となります。

地域振興への取組趣旨が一致する各社は、相互の協力関係を更に強化し、各社のネットワークや情報の有効活用を通じて、地方創生に資する地域農業の発展に貢献してまいります。

以 上

《お問い合わせ先》

株式会社 みなと銀行 企画部 広報室	TEL:078-333-3247
みなとキャピタル 株式会社 総務部	TEL:078-361-1511
株式会社 ファーム・アライアンス・マネジメント 総務部	TEL:03-3265-5090

### ■株式会社 ファーム・アライアンス・マネジメント

項 目	内 容
所 在 地	東京都千代田区九段南3丁目4番5号 番地ビル3階A
代 表 者	松本 武（代表取締役）
設 立	平成24年3月
資 本 金	94百万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル GAP 認証取得等の農業コンサルティング</li> <li>・ 農業フランチャイズチェーンの展開</li> <li>・ 農業生産物情報管理システムサービスの提供</li> <li>・ 農産物の卸売および販売</li> </ul>

### ■契約業務内容

- (1) 農業参入、農地所有適格法人設立に係る相談・支援
- (2) 事業計画策定、経営に係る相談・支援
- (3) 補助金情報の提供
- (4) グローバル GAP 認証取得に係る相談・支援
- (5) 投融資に係る相談
- (6) その他(1)～(5)に付随する業務

### ■グローバル GAP について

グローバル GAP は、多国籍に展開する国際流通大手、食品加工大手などで構成する国際食品安全管理のための組織 GFSI (Global Food Safety Initiative) が承認する4つの農産物の国際規格のうちの1つで、適正な農業生産工程管理 (Good Agricultural Practice) の認証規格です。グローバル GAP は、小規模から大規模農業法人まで対応できる規格として世界で最も普及が進んでいます。グローバル化する農産物流通においては、国際認証規格を取得している事が当たり前となっており、実需者から『選ばれる』サプライヤーとしての必須条件です。発祥の地、欧州はもちろん、最近ではアジアでの取得軒数が大幅な伸びを示していますが、残念ながら日本ではその取り組みが大幅に遅れ、国内では未だ少ない認証軒数というのが実態です。

TPP 発効を睨み、農産物の輸出戦略が語られる中、国際的に通用する客観性のある安全管理への取り組みや国際認証取得は、日本が国際舞台で戦う上においても極めて重要な要素です。

グローバル GAP の普及推進により日本における国際的に通用する農業生産工程管理の定着化を図り、日本農業の活性化及び国際競争力強化が期待されています。